

リーダー向けガイド

場所を問わずに働ける世界で成功する：

従業員を中心としたテクノロジー戦略をCIOはどのようにサポートすべきか

場所を問わない働き方への急激な変化を受けて、職場の柔軟性に対する期待が高まっています。しかし、**このような変化に伴い、CIO（最高情報責任者）は矛盾に直面しています。**

従業員は、リモートワークの導入で柔軟に独立して作業できるようになることをますます期待しています。

その一方で、仕事とプライベートの境界が薄れ、「常に稼働している状態」でなければならないというプレッシャーも感じています。

このような矛盾は、リモートワークの欠点ではなく、むしろデジタルトランスフォーメーションならではの成長痛のようなものです。CIOは共感性を重視した職場文化を促進することで、より大きな成功へと組織を導くことができます。

デル・テクノロジーズが40以上の事業所の回答者10,500人を対象に実施した『飛躍的進歩に関する調査』から、場所を問わず効率的に働ける組織には大きなチャンスがあることが明らかになりました。

80% の回答者が、分散型の働き方へ移行することで職場環境がよりインクルーシブになると回答

先見の明のあるCIOは、場所を選ばない働き方を実現する適切なテクノロジーや環境を従業員に提供することで、従業員を重視し意見を聞いているという姿勢を示しています。こうして従業員の満足感を高め、チーム全体の定着率、コラボレーション、イノベーションを向上させているのです。

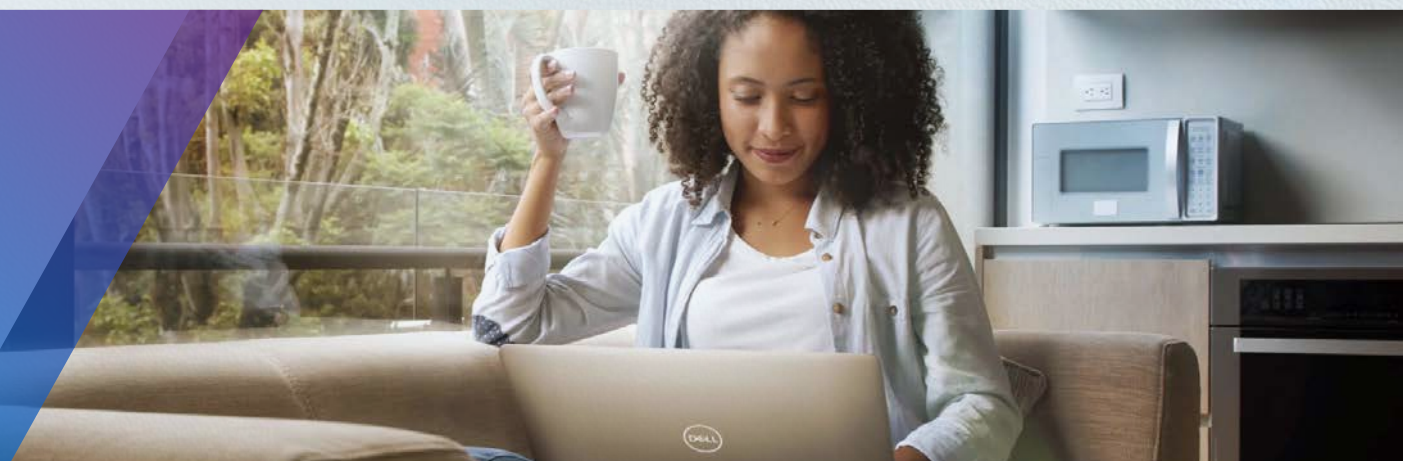
今こそ、場所を問わない最適な働き方を実現する文化を作り出す方法について客観的に検討する時期です。押さえておくべきポイントを以下で紹介します。

Q CIOとして未来の働き方を実現するには、以下の重要な質問に答える必要があります。

- ▶ 場所を問わない自由な働き方を職場文化として定着させるにはどうすればよいか？
- ▶ すべての従業員が、働く場所に関係なく平等にキャリアを積めるようにするにはどうすればよいか？
- ▶ デジタル セキュリティと従業員の自主性を両立するにはどうすればよいか？
- ▶ さまざまな仕事環境や生活環境に対応するにはどうすればよいか？

場所を問わない働き方を、従業員のニーズに最大限に応える形で実現することで、組織として飛躍的な進歩を遂げることができます。具体的には、以下のことに注力する必要があります。

1. ITのモダナイズ
2. セキュアな基盤の構築
3. インテリジェントな体験の提供



求められているのは、より柔軟な働き方

近年、従業員の期待は大きく変化しており、従来の働き方はもはや求められていません。

“

「進歩のモデルではありません。ここ数年に経験した在宅勤務や場所を問わない働き方から学ぶべきことはたくさんあります。企業はこの機会を利用して従業員が継続的な柔軟性を望んでいることに耳を傾け、場所に関係なく、セキュアで公平かつ生産的なつながりを実現できるように業務を再構築する必要があります」

Jen Felch、最高デジタル責任者兼最高情報責任者、デル・テクノロジーズ



1. ITのモダナイズ：

従業員があらゆる場所で能力を最大限に発揮できるように、本質的な柔軟性と効率性を提供しましょう。

従業員が利用するテクノロジーは、アイデアと目標を補完し、前進させるものである必要があります。IT環境のモダナイズとは、従業員のデジタル作業環境を、よりスムーズで使いやすいものにすることです。

テクノロジーのプロビジョニング、導入、サポート、更新のあらゆる側面を簡素化することが重要です。

『飛躍的進歩に関する調査』によれば、テクノロジーの導入が従業員に与える影響は見落とされやすい傾向にあります。従業員が求めているのは、業務に役立つ最適なテクノロジーだけではありません。**76%の従業員が、次のうちの少なくとも1つを組織に求めています。**

- ・ 希望する勤務形態が選べる自由と、必要なツールやインフラストラクチャの提供
- ・ 柔軟な働き方への継続的な取り組みと実現方法の透明性
- ・ リモート作業チームを効果的かつ公平に管理するための体制の完備

さらに重要なこととして、従業員は、働き方の選択について正当な許可と保護も求めています。IT部門と人事部門などの他部門とが連携することで、組織全体で一丸となって課題に取り組むことができます。

新しいテクノロジーを最大限に活用するには、リーダーによる共感力のあるサポートやエンパワーメントが不可欠です。

デル・テクノロジーズのクライアント ソリューション グループのCTOであるGlen Robsonは、企業に対して次の問いの答えを探すことを勧めています。「この変化の中で、人々はどのように連携して仕事をしているでしょうか？ 人々はすでに利用可能なテクノロジーを使って、どのようにメディアを利用したり、コラボレーションを行ったりしているでしょうか？

憶測やIT戦略に関する情報が適切に伝わっていないことが原因で、非常に優れた環境をもたらす可能性のあるテクノロジーを従業員が理解できない状況を作り出してはなりません。さもないと、これまでよりもはるかに優れたバランスと生産性を実現するチャンスを失うことになりかねません。これらの問いに対する答えを確認できれば、戦略チーム、テクノロジー チーム、ビジネス チーム、調査チーム、設計チーム全体でイノベーションを利用して、従業員の満足度や生産性の向上、人材の獲得と維持に活かしてください。これらが企業の差別化要因になります」



従業員があらゆる場所で最大限に能力を発揮できるようにするために、CIOが考える必要がある3つの重要な問い

- ▶ より柔軟で生産性の高い職場環境を実現するにはどうすればよいか？
- ▶ 従業員は、希望の働き方を選択できていると感じているか？
- ▶ 従業員が成果を出せるように、適切なテクノロジーとITサポートが提供されているか？



72%

の回答者が、リモートワークの普及により自組織がサイバー攻撃にさらされる可能性があると回答

2. セキュアな基盤の構築：

場所を問わない働き方を実現するには、どこからでも接続できる環境が欠かせません。しかし、セキュリティリスクの増加も見逃せません。接続地点が分散すれば、攻撃を受ける領域も広がります。こうした認識のもと、回答者の72%は、リモートワークの普及によって自社がサイバー攻撃にさらされる可能性が高まると回答しています。さらに62%は、自社のサイバーセキュリティ対策の最も弱い部分は従業員であると回答しています。

各地に分散した従業員、デバイス、データを保護するとともに、デジタルワークやハイブリッドワークに特有の変化し続ける脆弱性に対応することが、非常に重要です。このようなニーズの緊急性が高まっている主要要因として、次の2つが挙げられます。

1. エッジとエントリーポイントの急増
2. デジタルセキュリティの専門知識を持つ従業員の不足

そのため、セキュリティトレーニングが不可欠です。セキュリティ戦略を強化する際には、従業員が意図せず自分や社内ネットワークを攻撃にさらしてしまう可能性を抑える

ために、フェイルセーフの導入が欠かせません。このようなトレーニングは、組織だけでなく、従業員にとっても有益です。フィッシング詐欺に引っかかり、会社のWebサイトを停止させたことで誰も有名になりたくないでしょう。



「増大し続けるセキュリティ上の脅威に対応するために、企業は、導入済みのセキュリティ要件に従ってサイバー犯罪を撃退できるように、従業員に適切な知識を身に付けさせる必要があります。また、企業は本質的にセキュアなテクノロジーとテクノロジープロセスを導入することで、そのような行動を既定の対応にする必要があります」

John Scimone、シニアバイスプレジデント兼最高セキュリティ責任者、デル・テクノロジーズ



従業員が自宅でもオフィスと同じように安全に働けるかどうかを評価するうえで、CIOが考える必要がある3つの重要な問い

- ▶ 柔軟性と自由を損なうことなくデータを保護するには、どのようなソリューションを導入する必要があるか？
- ▶ 従業員のサイバーセキュリティの知識はどの程度であり、トレーニングはどのような状況で役に立つか？
- ▶ セキュリティ侵害が発生した場合に回復できる組織体制が十分に整っているか？

当社の調査では、回答者の半数(49%)がテクノロジーの複雑さや選択肢の多さに困惑していることがわかりました。



3. インテリジェントな体験の提供：

テクノロジーはユーザーフレンドリーであるべきであることは言うまでもありません。しかし、働きやすくするためのテクノロジー自体が、混乱や不満を引き起こすことも少なくありません。各地に分散した従業員をサポートするのであれば、なおさら直感的でインテリジェントなテクノロジーが必要になります。

当社の調査では、回答者の半数(49%)がテクノロジーの複雑さや選択肢の多さに困惑していることがわかりました。ソリューションや設定が多すぎるために使いづらいと感じているのです。

ユーザーが必要なときに適切なデバイス、コラボレーションソリューション、データ機能に簡単かつセキュアにアクセスできるようにすることで、従業員の業務効率を高められます。インテリジェントな体験の提供とは、ユーザーが仕事をする場所や方法に関係なく、生産性向上やコラボレーションをシームレスに実現できるように環境を整えることです。これを実現する手段が、パーソナライズされたモダンなワークスペースです。このようなワークスペースであれば、ユーザーは各自のスタイルや好みに合わせて働きながら、デジタル環境の中で同僚とのつながりを感じられます。

インテリジェントな体験の提供には、従業員にとって最適な作業環境を実現するために、インテリジェントなAIベースのデバイスを提供することや、組織内のさまざまなペルソナのニーズを理解することも含まれます。

従業員のニーズを中心に据えたテクノロジーを導入することで、場所を問わない働き方において成功するだけでなく、さらなる飛躍に向けてチームを活性化させることもできるでしょう。



「ハイブリッドワークモデルを成功させるには、中断のない一貫性のあるパーソナライズされた環境が必要で、このためには人間中心のIT戦略が必要となります。キッチンテーブル、オフィス、または南国の非公開の場所など、その日にどこで仕事をするかに関係なく、適切なツールにすみやかにアクセスして仕事を処理できる必要があります」

Brooke Huling、バイスプレジデント、モダンコンピューティングソリューショングループ、デル・テクノロジーズ



従業員がどのような状況でも安全に活躍できるかを評価するうえで、CIOが考える必要がある3つの重要な問い

- ▶ 近年に採用したテクノロジーソリューションは、実際にチームの役に立っているか？
- ▶ 従業員がテクノロジーに関する問題に直面したときに、どのようなリソースを利用できるか？
- ▶ 各地に分散しているチームメンバーが、直接会っているときと同じようにコミュニケーションやコラボレーションを容易に行うことができるか？



場所を問わない働き方は柔軟な働き方の進化形

リモートワークやハイブリッドワークは、多くの企業にとって不幸中の幸いとなりました。これらのおかげで、従業員の柔軟性と自由が高まっただけでなく、人事部門が物理的なオフィスからの距離に縛られずにあらゆる地域から優秀な人材を探せるようになったからです。適切なテクノロジー、プロセス、サポートシステムを導入することで、組織と従業員を明るい未来の働き方へと導くことができます。

さらに成功を収めるには、場所を問わないモダンな働き方を実現し、どこでもイノベーションを起こせる能力を取得する必要があります。従業員を業務の中心に据えれば、競争上の優位性を獲得できるでしょう。

デル・テクノロジーズのサービスを利用することで、将来に向けて組織を最適化し、常に接続された世界で成功を収められます。私たちは、信頼できるパートナーシップ、革新的なテクノロジー、エンドツーエンドのシンプルさを統合することで、どこにいる顧客に対してもサービスを提供できるようにしています。

詳細は、dell.com/cioをご覧ください。

飛躍的進歩に関する調査の詳細と、人とテクノロジーの交わりに関する新しい知見については、dell.com/breakthroughをご覧ください。

出典：デル・テクノロジーズ、『飛躍的進歩に関する調査』（2022年4月）。2021年8月～10月にフィールドワークを実施。
調査および分析はVanson Bourneがデル・テクノロジーズから委託を受け実施。

Copyright © 2022 Dell Inc.またはその関連会社。All rights reserved.（不許複製・禁無断転載）。Dell Technologies、Dell、EMC、Dell EMC、ならびにこれらに関連する商標およびDellまたはEMCが提供する製品およびサービスにかかる商標はDell Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。その他の商標は、各社の商標または登録商標です。

DELL Technologies